

秋山協力隊

かわあはん

3月郷
発行 2019
栄村地域
おこし協力隊

2月の活動報告

カワオトエリコ

*紫黒米のボン菓子

2月は東京出張がめざましく、多かったです。

▼地方に閉わるNPOさんとお話

今は「コト消費」といって

商品にまつわる背景や商品を購入するところどう

生活が変わるか、というストーリーが重視されているところどう

それを基にした売り手の話、世界観の作り手、独自の作り方について教えていただきました。



▼地域おこし協力隊全国サミット

出張して、各地域の協力隊にどうやって商品化したか聞いて



ようす支援現場

▼ビジネスプラン研修(基礎編)

会計の話や商品の生産計画の話など

具体的には計画を立てる際に必要項目の話や聞きました。商品の単価の設定方法など勉強になりました。

石川泰正の活動報告

池田市秦野小学校雪遊びイベント

先月報告時では延期状態だったイベントですが、二月二十三日(土)に開催が決まりました。今回で通算三回目です。



目の開催で、地域での宣伝、浸透が広まった効果もあり、昨年を上回る人数に実現いただけました。雪山は人だかりで見えなくなり、持っていた物販、おふるまいのこの二汁は一瞬間でぼろぼろ無くなってしまいました。子供達の笑顔が嬉しかったです。今後はこのイベント以外でも交流できたらと考えています。

生きがいセンター卓球交流会

宣伝ぶらり二月二十五日(月)に小赤沢生



かいセンターで卓球会を開催しました。昨年より小規模、少人数となりましたが、その分熱練者が集まっており、ハイレベルな対戦になりました。今後何かしら皆で集まれる機会を考えたいです。

県境綱引き

今年も県境綱引きに参加してきました。いつも今回は子供達が主役。私は広告パネルをフリフリ応援しました。栗村の勝利で終わりましたが参加者が楽しそうだった事が一番良かったです。来年は皆で応援しよう

温泉地Reデザイン研究会



温泉地の新しい楽しみ方をも研究する取組として、県のDMOの方々に入って頂いて進めております。今日までに2度ワークショップを行い、女性自線からの観光資源の洗い出しを行い、第二回目は具体的な滞在プランのイメージを行いました。これをやっけて分かつ事は、今も昔も観光資源やお客様の心理的なニーズに大きな変化は無いという事です。ただ時代の変化によって好みやニーズは変わってきています。重要なのは「リテラシー」を新しくする事です。はいかと思

の使いか、PRに使うデザインの見せか、自分で中身は同じでも見た目をか、このまじで世の中からのモチベーションを高めるのは人間も商品も同じなのかなと思います。ただ、この「パッケージ」を作れるのはコトモノですが「中身」はここで暮らす営業して、いよいよ皆さん以外に無いと思えます。今回は小志沢集落を軸にしたプロシクトを考えており、小志沢の民俗の女将さん方に協力頂いております。皆様魅力を活かした企画にしていただくと、お思います。何卒よろしくお願いいたします。

なめろナナ製

小赤沢活性化倶楽部に提案させて頂いたこの企画もモニターネットの募集のみで定員に達しました。秋山郷との関りのさかすかとして、応募してくださった方もいろいろあります。これをきっかけに良いお付き合いがなればと願っております。

あきやまごうのいぬとね
お散歩に出る。

- ブログを作成し、外部施設に少しづつですが置いてもらうようにしています。
- ブログを県外の方が見てくれること为目标です。

重なりを通じて秋山郷のことを知ってもらえるようにしていきたいです。

グライベート報告(石川)

狩猟系の資格に挑戦(続)

先月に報告した狩猟免許(第一種)と、猟銃等講習会(初心者)に二月中旬に挑戦してきました。結果はなんと全合格で済みました。これまで一段階目、狩猟はこの後に登録、猟銃は射撃講習に挑戦になります。全部が終われば狩猟者になれるまでには時間が必要ですが、まだ進捗時に報告します。

秋山地区の皆様へすぎもりはな

いよいよ2度目の冬が終わろうとしています。ついには協力隊最後の一年が近づきます。今、私はいくつかの仕事を同時進行で進めておりその準備もまとめで忙しい日々です。今までの様にぶらりと目標のところに顔をみせる時間も少なくなりました。お顔をみえるのを楽しみにしております。

秋山郷の皆様が日々おられるのが、出来る限りその地域の未来に残せる事のために、協力隊としての時間を費やしてまいります。

